

様

病名		症状		年	月	日
入院病日 経過	治療前(外来～入院支援センター～入院前日)	入院・治療当日	治療後1日目(退院日)	退 院 療 養 計 画 書		
月 日	/	/	/	退 院 日 (予定)		
目 標	風船治療について準備・理解ができる	不安や痛みを表出し安静を守る事ができる	合併症が起きず日常生活の知識を身につけ退院できる	月 日		
指導・説明	《外来》 風船治療について詳しく医師から説明があります その際(ご家族と一緒に)、承諾書にサインをしていただきます。 風船治療の流れを看護師が説明します。 特別な栄養管理の必要性 ☐ 有 ☐ 無 必要時、入院中に栄養士から栄養指導があります	《入院支援センター》 「入院のしおり」を説明します 入院日、情報の確認をします 薬の確認をします (お薬手帳をご提示下さい) * 治療当日に医師の指示により中止となるお薬があります	指定された時間までに6階みなみ病棟へお越し下さい ・午前入院、午前検査の場合 (朝食を摂取せずに入院して下さい) ・午後入院の場合 (朝食は摂取し、入院後昼食が禁食となります) 《治療前》 ・治療前1食は禁食、治療後1食はおにぎりになります。 ・治療前の薬は少量の水で飲んで下さい。 ・禁食時は医師の指示で糖尿病薬とインスリン注射が止まります。 ・胸に心電図を貼り、点滴、必要時尿管を入れます。 ・血圧、脈拍などの測定を行います。 ・貴金属、入れ歯等、身に付けている物をすべて外して下さい。 (穿刺部が手首と肘の場合) ⇒穿刺部に印を付け局所麻酔のテープを貼ります。 (穿刺部が足の付け根の場合) ⇒穿刺部周囲を除毛し、足の甲に印を付けます。 下半身は全て脱ぎ長寝巻をかけます。 ・1階の血管造影室へベッド又は車いすで行きます。 ・治療後、医師の指示により集中治療室に行くこともあります。	・40歳以上の方は、別紙《総合機能評価表》を用いて総合的な機能評価を行う場合があります。 ・退院後の日常生活や再診日について看護師から説明があります。	退院後の治療計画 ☐ 当院当科外来で通院治療を行います。 ☐ 他院 ()で通院治療を続けます。 ☐ その他	
	清潔	・入院前日は体をきれいにしましょう ～治療の当日・翌日は入浴・シャワーはできません	・医師の指示で、内服薬の調整が行われることもあります。 ・薬剤師から薬の説明があります。	退院後の療養上の留意点 ・規則正しい通院 ・塩分制限 ☐ その他		
点滴注射 内服薬	・内服薬やインスリン注射、お薬手帳を持参し 看護師に渡して下さい。	・検査当日は(朝・昼)が禁食です。	保健医療サービス又は福祉サービス			
検査活動 処置		・治療中・治療後の安静中に胸部症状がありましたらすぐに知らせて下さい。	・特にありません			
食事		・ベット上安静です、出血を防ぐためにとても大切です。 【穿刺部位による安静時間】 ・手首・肘の場合:1時間 ・足の付け根の場合:3～6時間(医師の指示により重りを乗せ圧迫したり、安静時間も異なります。)	その他			
その他	・眠れない時は申し出て下さい。 ・胸部症状がありましたら看護師に伝えて下さい。	・医師の指示により点滴が続く場合があります。 ・医師から治療結果の説明があります。(御家族も一緒に)	・退院当日に外来棟1階⑤お支払(退院精算)で精算して下さい。 (休診日の場合は入院棟1階、28番救急外来受付になります。) ※概算は退院前日にお知らせします。			

(主治医) 印

(主治医署名)
※主治医の押印がある場合は不要

主治医以外の担当者 (看護師)
(薬剤師)
(栄養士)

旦川赤十字病院 6階みなみ入院フロア